

;µå À“ B!) %- ð 6Ns

>& Û-¶e2 -å±îz¿ Û,A<' >&- Û,A<' >& Û,A<'

cLu_

昭和59（1984）年の春、婦負郡八尾町（現・富山市八尾町）高善寺地内の水田ほ場整備工事中に甕に入った大量の銭貨が出土し、当時の新聞記事にも紹介された（北日本新聞昭和59年5月1日付「田んぼから古銭」など）。これまで、水田の所有者だった個人が所蔵していたが、令和4（2022）年4月に、現所有者から甕1点と銭貨を富山市に寄附の申し出があり、埋蔵文化財センターで受入れの手続きを行い、7月からのミニ企画展で展示公開した。

本稿執筆中も出土銭貨の鋳落としを行いつつながら銭種の判読作業を進めているが、現時点で確認できたものを紹介するとともに、富山県内における大量一括埋蔵銭の出土状況を概観し、八尾町高善寺出土埋蔵銭の意義を考察する。

>/ µ•#ë9×•N...Æ u Û-¶5¹

出土した地点は、井田川左岸の沖積地上に位置し、現在の富山市立保内小学校西側に隣接する水田からである。この水田付近は、平成11（1999）年度に八尾町教育委員会が実施した布調査で「館本郷Ⅱ遺跡」として新規設定し、遺跡地図に登載されていた。平成20～21年には経営体育成基盤整備事業（県営ほ場整備）高善寺地区に伴う試掘調査が富山市教育委員会によって実施されたが、埋蔵銭が出土した水田周辺で遺跡の所在は確認されなかった。よって、出土地点については遺跡名とせず、「八尾町高善寺地内」と呼称することにした。本来は、埋蔵銭出土地点周辺にも何らかの遺構が存在していた可能性があるが、近代以降の区画整理やほ場整備事業で削平され、地中深く埋蔵されていたものが不時発見されたのであろう。

塩田明弘氏は「富山県内における大量一括埋蔵銭集成」（塩田2002）で、この八尾町高善寺地内出土埋蔵銭を次のように紹介している。

「水田のほ場整備工事中に珠洲焼の壺に納められた銭が出土した。（中略）出土総数は不明であるが、約1万枚と推定されている。現段階では39種が確認され、最古銭は開元通宝、最新銭

No.	銭貨名	王朝	初銭年	枚数
1	開元通寶	唐	621	606
2	乾元重寶	唐	758	27
3	漢通元寶	後漢	948	1
4	周通元寶	後周	955	1
5	唐國通寶	南唐	959	4
6	宋通元寶	北宋	960	17
7	太平通寶	北宋	976	83
8	淳化元寶	北宋	990	69
9	至道元寶	北宋	995	122
10	咸平元寶	北宋	998	128
11	景德元寶	北宋	1004	151
12	祥符元寶	北宋	1009	201
13	祥符通寶	北宋	1009	92
14	天禧通寶	北宋	1017	138
15	天聖元寶	北宋	1023	311
16	明道元寶	北宋	1032	17
17	景祐元寶	北宋	1034	62
18	皇宋通寶	北宋	1038	665
19	至和元寶	北宋	1054	53
20	至和通寶	北宋	1054	29
21	嘉祐元寶	北宋	1056	40
22	嘉祐通寶	北宋	1056	88
23	治平元寶	北宋	1064	116
24	治平通寶	北宋	1064	7
25	熙寧元寶	北宋	1068	403
26	元豐通寶	北宋	1078	718
27	元祐通寶	北宋	1086	425
28	紹聖元寶	北宋	1094	192
29	元符通寶	北宋	1098	76
30	聖宋元寶	北宋	1101	218
31	大觀通寶	北宋	1107	74
32	政和通寶	北宋	1111	235
33	宣和通寶	北宋	1119	16
34	建炎通寶	南宋	1127	3
35	正隆元寶	金	1157	5
36	淳熙元寶	南宋	1174	28
37	紹熙元寶	南宋	1190	13
38	慶元通寶	南宋	1195	13
39	嘉泰通寶	南宋	1201	4
40	嘉定通寶	南宋	1208	9
41	大宋元寶	南宋	1225	1
42	紹定通寶	南宋	1228	7
43	端平元寶	南宋	1234	1
44	淳祐元寶	南宋	1241	2
45	皇宋元寶	南宋	1253	1
46	景定元寶	南宋	1260	3
47	咸淳元寶	南宋	1265	1
48	洪武通寶	明	1368	5
49	永樂通寶	明	1408	30
50	宣德通寶	明	1433	4
	判読可能			5515
	判読中(不可)			6369
	合計			11884

/² µ•#ë9×•N...Æ u5¹2 M0t

は咸淳元宝である。埋蔵時期は 14 世紀と考えられている。発見地の近隣には常福寺（法華宗）があり、付近の地名が「館」であることから寺院や居館との関連が考えられる。」

令和 4 年 4 月に市に寄附を受けて以降、出土銭貨の総数のカウントと銭種の判読作業を進めている。銭貨の総枚数は 11,884 枚で、現時点で判読出来たものは 50 銭種 5,515 枚である（令和 5 年 2 月時点）。現時点では全て中国で生産されたとみられる渡来銭である。

最古銭は「開元通宝」（唐銭、初鑄 621 年）で、最新銭は「宣徳通宝」（明銭、初鑄 1433 年）であることから、埋蔵時期は 15 世紀以降とみられる。最も点数が多かったのは、「元豊通宝」

（北宋銭、初鑄 1078 年）で 718 枚（13.0%）、次いで「皇宋通宝」（北宋銭、初鑄 1038 年）が 665 枚（12.0%）、「開元通宝」が 606 枚（11.0%）を数える。中国の王朝別でみると、北宋銭が 4,746 枚（86.0%）と最も多く、次いで唐銭が 633 枚（11.5%）、南宋銭 86 枚（1.5%）、明銭 37 枚（0.7%）と続く。

銭貨と共に珠洲焼の壺 1 点の寄附を受けた。口縁部が欠損した状態で、残存高 3.5 cm、底径 12.5 cm、胴部最大幅 3.2 cm を測る。中学 2 年生の職場体験事業「社会に学ぶ 14 歳の挑戦」で、速星中学校生徒の協力でこの壺に何枚の銭貨が納まるか実際に銭貨を入れて数えてみたところ、7,030 枚入ることが判明した。現存する銭貨の数は 11,000 枚余りあることから、この珠洲焼 1 つでは納まりきらないことが判る。所有者家族からの聞き取りや『下高善寺集落史』によると、出土当初壺は 4 点あったとのことであるが、現時点で確認されている壺は 1 点のみで、残りの 3 点の所在は不明である。ここからは推測の域を出ないが、4 点の壺に仮に約 7 千枚ずつ入っていたとした場合、28,000 枚を超える枚数の銭貨がこの地に埋蔵されていた可能性がある。富山県内で現時点で確認されている大量一括埋蔵銭の最多数は、射水市大門町布目沢の布目沢Ⅱ遺跡から出土した 22,938 枚である。あくまで推測であるが、これを凌駕する枚数がこの地区に埋蔵されていた可能性もある。

>0) £ w Æ _ > E • M Ó Û · ¶ 5¹ b u | [

>&>/>' >8^a N S4G2\$

平成 7（1995）年、婦負郡婦中町長沢（現・富山市婦中町長沢）地内で、真言宗高野山派寺院各願寺に向かう参道（農道）舗装改良工事での側溝補修時に大量の銭貨が出土し、工事関係者が当時の婦中町教育委員会に持ち込んだ。各願寺の山門から南東に 90 m の地点である。各願寺は大宝元（701）年開基とされ、法相宗から天台宗に改めた後、真言宗に転じて今に至ると伝わる。

出土した銭貨は、全体の 1 / 3 が孔に藁紐を通して結び目をつくった縉銭（一縉 97 枚で百文とみなす）の状態であった。銭貨の総枚数は 3,266 枚で、その内判読することができたものは 51 種類、3,215 枚であった。最古銭は「開元通宝」で、最新銭は「宣徳通宝」で、最も多いのは「皇宋通宝」で 364 枚（11.2%）、次いで「元豊通宝」が 327 枚（10%）を数える。中国の王朝別で、北宋銭が 76.9% と最も多く、次いで明銭が 9.9% である。埋蔵時期は 15 世紀第 2 四半期とみられている（大野 2015）。

出土地点からは、珠洲焼の壺破片 5 点と播鉢（蓋として利用か）破片 1 点が採取された。一括埋蔵銭出土地点に南接する宅地造成時（昭和 60 年度）の試掘調査では、柱穴や土坑等の遺構を検出し、銅製仏具や中世土師器、珠洲焼等も出土し、各願寺との関連が指摘されている。出土した銭貨が現参道の側溝部分からの出土で、当時の参道の位置と変わらなければ、銭貨は側溝中に意図的に埋められた可能性がある。また、周辺には 14 ～ 16 世紀の遺

構や遺物も確認され、銭貨埋蔵段階にも何らかの施設が存在した可能性があり、地鎮など寺院に関連した行事に伴い埋納された「埋納銭」と推測される。

>&>0>' V x% 4G2S

昭和47（1972）年、富山市上布目地内のほ場整備工事中に、珠洲焼の甕に納められた銭貨がみつかった。総数は約3,200枚で、最古銭は「開元通宝」、最新銭は「永楽通宝」（明銭、初鑄1408年）で、埋蔵時期は15世紀以降とみられている。上布目を含む熊野川右岸の平野部は、鎌倉時代以降荘園（太田保）が成立し、それを管理する荘官などが居館を構えていたとみられる。一方周辺には江本経塚や塚根経塚、墓地もみられ、寺院との関連も推測される。なお、この昭和47年に出土した銭貨は、現在、県埋蔵文化財センターに所蔵されている「大沢野町出土」となっている資料のことと推測される。

平成13（2001）年には、土砂採取工事に伴う発掘調査が富山市教育委員会によって実施された。墓穴とみられる土坑などから計46枚の銭貨が出土し、最古銭は「開元通宝」、最新銭は「元豊通宝」（北宋銭、初鑄1078年）である。土坑の側には大型掘立柱建物（馬小屋を伴う5間×4間以上の建物と、西面に庇を持つ4間以上×4間以上、いずれも総柱建物）が重複して築かれる。遺構の時期は12世紀中頃～13世紀後半とみられる。鎌倉時代以降、富山市南部のこの地域一帯は、太田氏や蜷川氏が支配する太田保に含まれ、室町時代には管領細川氏が支配していた。銭貨が出土した土坑からは焼骨や炭、焼土、礫なども出土し、銭貨や礫は多くが焼けており、この地域を支配した有力者が亡くなった際に、その副葬品として銭貨を埋納していたことが推測される。

>&>1>' #ã p#ã é4G2S

昭和59（1984）年10月に富山市太田中区（太田字中田割）の市道工事中に古銭約300枚が出土し、埋蔵物の発見届が提出されている。現時点で、この埋蔵銭がどこで保管されているか確認できないことから、銭種などの詳細は不明である。出土地点付近は、中世の太田保の本郷であった地区で、鼬川と筏川の間、立山参詣道が南北に通る交通の要衝となっている。越後の上杉謙信が越中の一向一揆衆を包囲するため、上杉氏の家臣・河田長親によって本郷の向城として造られた太田本郷城の北東約250mに位置する。近くの刀尾神社は加賀藩三代当主前田利常が保護した立山七社の一つで、立山道の西玄関とされた立山信仰の拠点でもある。同社に隣接する真言宗刀尾寺は大宝年中創設と伝わり、立山開山慈興の作といわれる不動明王を本尊とするなど、銭貨出土地点周辺には中世城館や有力寺社が位置し、それらを背景とした有力者によって埋蔵されたことが推測される。

>1) £%4 Æ _ > E • ±5 M Ó Û ·¶5¹ b u" g

富山県内での埋蔵銭の出土は、鎌倉時代に現われ、室町時代に多くみられる。埋蔵銭は、遺跡発掘調査中にみつかる場合と、ほ場整備工事や道路工事などの最中に不時発見される場合もある。県内における大量一括埋蔵銭の出土状況は、表2のとおりである。概ね300枚以上の大量一括埋蔵銭が出土する地点は23箇所確認できる。

銭貨をまとめて埋めた理由として、貯蔵や貯蓄（備蓄）、戦争や災害などからの緊急避難、呪術等様々な説がある。呪術的な埋蔵銭（埋納銭ともいう）としては、墓に埋める「副葬銭（六道銭）」や山岳信仰に捧げる「奉賽銭」、土地の開発の際や城館等の境界で行うまつり、

井戸廃棄に伴う「祭祀銭」等がある。

番号	遺跡名等	所在地	遺跡の性格	立地	時期	銭種	枚数	最古銭	最新銭	収納容器	出土数量順位	備考	出典等
1	明石遺跡	朝日町明石		斜面		56	6,453	開元通寶	宣徳通寶	コモ(ムシロ)か	5	大正12年畠作業中出土	朝日町宮崎自然博物館・朝日町郷土の遺跡を語る会1980『越中宮崎城下出土銭考』
2	天戸遺跡	朝日町三枚橋字天戸		平地			約1,100	開元通寶	永楽通寶	不明	15		
3	舟見小柴遺跡	入善町舟見		平地	15後半～16世紀初頭	37	3,371	開元通寶	宣徳通寶	珠洲焼・壺	8	昭和47年ほ場整備工事中出土	入善町教育委員会1973「舟見発掘の古銭整理報告書」
4	法福寺前遺跡	黒部市宇奈月町明日	寺院関連	台地	16世紀初頭	53	12,534	開元通寶	宣徳通寶	越前焼・壺	2	大正2年畠作業中出土	『追録 宇奈月町史歴史編』1989、富山考古学会再調査
5	植木	黒部市植木		平地			約1,000			越前焼・壺	17	大正13年	黒部市教育委員会より教示
6	江上B遺跡	上市町江上	集落	平地	14世紀前半	37	559	開元通寶	嘉定通寶	珠洲焼・壺	19	SK106から37種559枚、SK088から27枚、SD014から3枚、SD066から1枚、K17Y43区から1枚(寛永通宝)、出土区不明6枚(1枚寛永通宝)	上市町教育委員会1982『北陸自動車道遺跡調査報告―上市町土器・石器編―』
7	大坊谷	立山町上末	寺院敷地内	台地			400以上			不明	20		『立山町史』上巻
8	高善寺	富山市八尾町高善寺		平地	15世紀か	43	11,884	開元通寶	宣徳通寶	珠洲焼・壺	3	昭和59年ほ場整備工事中出土、令和4年発見者家族から市に寄附	本稿
9	各願寺前遺跡	富山市婦中町長沢	寺院関連	台地	15世紀か	52	2,390	開元通寶	宣徳通寶	珠洲焼の壺か	10	平成7年側溝工事中、97枚で1縷	大野英子2015
10	上布目遺跡	富山市上布目	集落	平地		37	約3,200	開元通寶	宣徳通寶	珠洲焼・壺	9	600枚摸出し調査、その他10kg、昭和47年工事中出土	富山県埋文センター保管
11	太田中田Ⅱ遺跡	富山市太田中区		平地			約300			不明	23	昭和59年道路工事中に出土	
12	八塚C遺跡	射水市大島町八塚	寺院	平地		23以上	約1,000	開元通寶	寛永通寶(永楽通寶)	不明	16		
13	布目沢Ⅱ遺跡	射水市大門町布目沢字畑田		平地		69	22,938	貨泉	宣徳通寶(新寛永)	越前焼・壺	1	昭和39年ほ場整備工事中出土、100枚の縷が大半、100枚続きの300枚縷銭あり	大門文化会1964『布目沢出土銭誌』
14	古戸出	高岡市古戸出		平地		48	6,072	開元通寶	宣徳通寶	珠洲焼・壺	6	昭和48年工事中出土	富山県埋文センター保管
15	舞谷前田島遺跡	高岡市福岡町		山麓の縁辺部	15世紀第2四半期～16世紀	57	5,500	開元通寶	宣徳通寶	木箱	7	平成16年「こぶし荘」直下の斜面の地すべり対策工事中に発見、縷銭の状況	富山県高岡市福岡町埋蔵文化財分布調査報告Ⅳ
16	廣栖神吾遺跡	砺波市廣栖字神吾		平地			約2,000	開元通寶	永楽通寶	不明	11		
17	下中条遺跡	砺波市下中条		平地		36	359			不明	22		
18	香城寺遺跡	南砺市福光町香城寺	寺院敷地内	山麓	15後半～16世紀初頭	48	1,388	開元通寶	宣徳通寶	不明	14	明治初め頃耕作中出土	富山県福光町医王山文化財調査委員会1993『医王は語る』
19	矢倉畑遺跡	南砺市福光町祖谷	八幡社前	平地			600			茶色の壺	18		
20	朝日十字路遺跡	氷見市朝日丘		平地	15後半～16世紀初頭	56	6,495	開元通寶	宣徳通寶	珠洲焼・壺	4	昭和57年水道工事中出土	氷見市史編さん委員会2002『氷見市史考古』
21	中尾ガメ山遺跡	氷見市中尾字茅戸		山裾	13世紀後半か	41	1,805	開元通寶	咸淳元寶	不明	12	昭和50年ため池工事中、30枚単位で結ぶ	湊 嵐・児島清文1983「中尾古銭埋置遺跡」『氷見春秋』第2号
22	小竹遺跡	氷見市小竹	山城	標高240m		34	389	開元通寶	永楽通寶	不明	21	縷銭か、ベトナムの治平通寶を含む、小竹山城のC郭の直下	氷見高校歴史クラブ1951『昭和25年度研究調査報告集』
23	西朴木フルヤチ遺跡	氷見市西朴木	不明	丘陵先端		51	1,470	開元通寶	宣徳通寶	不明	13	昭和25年頃不時発見	氷見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区)Ⅳ2004年3月

1/2) £%4 Æ _ > E • ±5 M Ó Û -151 b u" g # (一か所で数百枚単位以上のもの)

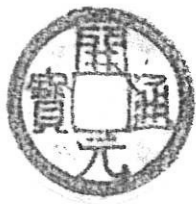
> f ~ _

八尾町高善寺地内に隣接する館本郷地区には、15世紀に田中保を領有した豪族田^{たなか}市^{かいちのかみ}正の館跡と伝わる館本郷館跡が所在する。市正は明応2（1493）頃、又は越後長尾氏との争いで戦死したと伝わる。また、出土地の近隣から寺院に安置される供養塔（宝篋印塔）の一部が昭和39年頃みつきり、銭貨出土地の南約300mには地名の由来となった高善寺（現・勝福寺）が所在していた。応仁の乱や一向一揆が起こる等、世情不安定な時期でもあり、大量の銭貨が埋蔵されたのは、寺院や有力者が戦乱などから回避するためだったのではないだろうか。

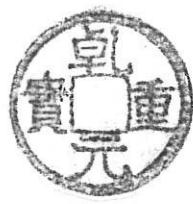
e"©

7#ã Â / 「富山県における大量一括埋蔵銭集成」『出土銭貨』第17号 出土銭貨研究会
#ã4 M 「氷見市西朴木フルヤチ遺跡の一括大量出土銭」『氷見市埋蔵文化財分布調査報告書Ⅳ』氷見市教育委員会

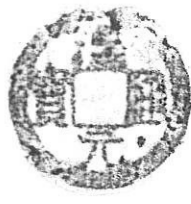
±5,e Ê 「富山市各願寺前遺跡の一括出土銭について」「富山市考古資料館紀要」第34号 富山市考古資料館



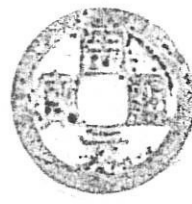
1. 開元通寶



2. 貞元重寶



3. 漢通元寶



4. 周通元寶



5. 唐國通寶



6. 宋通元寶



7. 太平通寶



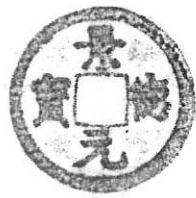
8. 淳化元寶



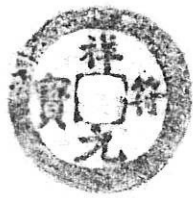
9. 至道元寶



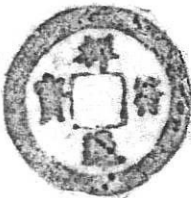
10. 咸平元寶



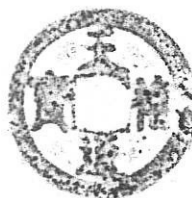
11. 景德元寶



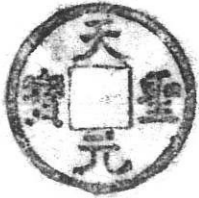
12. 祥符元寶



13. 祥符通寶



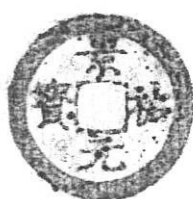
14. 天禧通寶



15. 天聖元寶



16. 明道元寶



17. 景祐元寶



18. 皇宋通寶



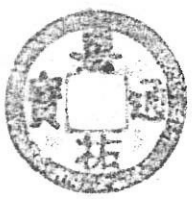
19. 至和元寶



20. 至和通寶



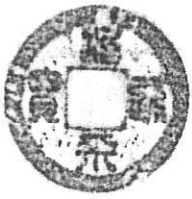
21. 嘉祐元寶



22. 嘉祐通寶



23. 治平元寶



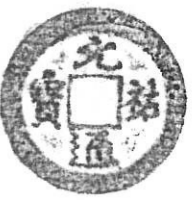
24. 治平通寶



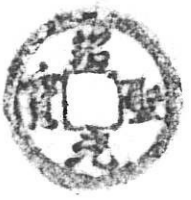
25. 熙寧元寶



26. 元豐通寶



27. 元祐通寶



28. 紹聖元寶



29. 元符通寶



30-1. 聖宋元寶

W μ•#ë9×•N ... Æ u Û·¶5¹ b Å•M0t>& >& 6>; >'



30-2. 聖宋元寶
(折二錢)



31. 大觀通寶



32. 政和通寶



33-1. 宣和通寶



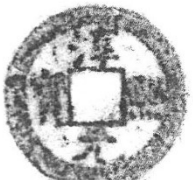
33-2. 宣和通寶
(折二錢)



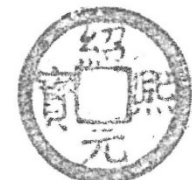
34. 建炎通寶



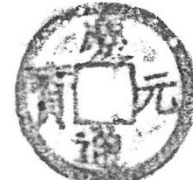
35. 正隆元寶



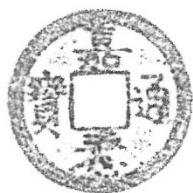
36. 淳熙元寶



37. 紹熙元寶



38. 慶元通寶



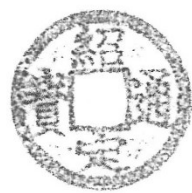
39. 嘉泰通寶



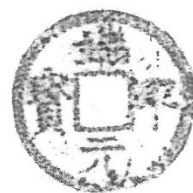
40. 嘉定通寶



41. 大宋元寶



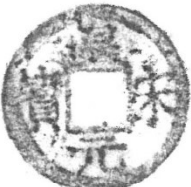
42. 紹定通寶



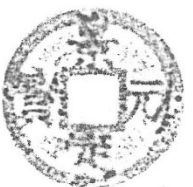
43. 端平元寶



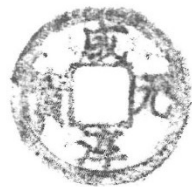
44. 淳祐元寶



45. 皇宋元寶



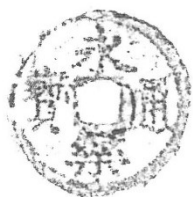
46. 景定元寶



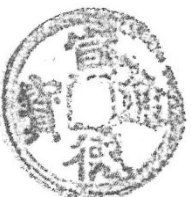
47. 咸淳元寶



48. 洪武通寶



49. 永樂通寶



50. 宣德通寶

W μ • #ë9× • N ... Æ u Û-¶5¹' b Å • M0t>& »& 6>; >'